

協同的な学習を通して、学び方やものの考え方を身に付けさせる指導の在り方
～第2学年「生き方を見つめる」職場体験学習を通して～

日上市立助川中学校

1 はじめに

本校では、教育目標を「丈夫な体とたくましい心を育てる《つよく》」、「自ら進んで創造する態度を養う《ただしく》」、「豊かな心情を培う《ゆたかに》」とし、「体を鍛え、がんばりのきく生徒」、「確かな学力をもち、創意工夫する生徒」、「決まりを守り、礼儀正しく思いやりのある生徒」を目指す生徒像として、日々の教育活動に取り組んでいる。

学習指導要領では、総合的な学習の時間の目標に「学び方やものの考え方を身に付けること」がある。変化の激しい社会を生きていく上で、自己の生き方を見つめ、自己決定をしていくためには、自分の生活や生き方と結び付けて物事を捉える見方や考え方が必要となってくる。

第2学年では「生き方を見つめる」をテーマとし、職場体験活動を通して自分自身の生き方を考える活動を行っている。協同的な学習を通して情報収集・分析の仕方やまとめ方等を学び、他者とコミュニケーションをとることで、様々なものの考え方を身に付けられるように工夫している。

2 指導内容

(1) 単元について

1学年では「再発見！わが街日立」、「命の大切さを学ぼう」、「職業について知ろう」の3つのテーマで学習を進めてきた。「再発見！わが街日立」では、特別活動推進事業や各自が設定したテーマをもとに、調べ学習や発表会を行うことで地域理解を深めてきた。心肺蘇生法体験では命の大切さを学習した。また、身近な人の職業についてのインタビューや2学年の職場体験学習の発表会に参加する活動を通して、働くことの喜びや大変さ、意義等を学んできた。2学年では「生き方を見つめる」をテーマに職場体験活動や職業人に学ぶ会、立志の集いから、自分自身の生き方について考えていくことを目標に活動をしていく。

本単元では、職場体験活動を通して、自ら興味のある職業を選び、情報の集め方や調べ方、まとめ方を学ぶ力を醸成すること、そして、職業人とふれ合うことで自己の生き方を見つめ、自分の生き方と結びつけて考える力を付けることをねらいとしている。1学年での実践を踏まえ、2学年では生徒自ら自分の就きたい職業について考え、選択させること等を通して、課題をもって職場体験学習に取り組むことができるようにしたい。職場体験活動では、自分の生活や生き方と結び付けて物事を捉える見方や考え方を学び、職業人との交流を通して勤労体験をすることで、望ましい勤労観・職業観を育ていけるようにする。また、事後のまとめや発表学習を通して、体験したことを振り返り、働くことの喜びや大変

さ、意義等をより深く考えさせるとともに、互いの考えを共有し、認め合い、自らの考えやものの見方を深められるようにしていく。これらの活動を通して、生徒一人一人が自分の生き方に目を向けて考え、学習したことを将来に活かしていこうとする態度を育てていきたい。

(2) 指導と評価の計画（全 35 時間）

次	時	主な学習活動	評価規準及び評価方法
1 次	7	<p>○職場体験学習の準備をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場体験学習のガイダンスを聞く。 ・ 自分を知り、生かす職業について考える。 ・ 興味のある職種について考える。 ・ 体験する事業所を決定する。 ・ 電話連絡、事前打ち合わせの練習をする。 ・ エントリーシートを記入する。 ・ 体験する事業所の情報収集をする。 	<p>制作物による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トライアルハンドブック <p>観察・制作物による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行動観察 ・ トライアルハンドブック
2 次	18	<p>○職場体験学習をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験する事業所へ電話連絡をする。 ・ 職場体験活動行程表（事前打ち合わせ、職場体験学習当日）を記入する。 ・ 体験する事業所へ行き、事前打ち合わせをする。 ・ 事前打ち合わせの報告書を記入する。 ・ 事前にねらいや注意点を再確認する。 ・ 2日間の職場体験活動に取り組む。 	<p>制作物による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トライアルハンドブック ・ 職場体験学習行程表 <p>自己評価・他者評価（事業所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トライアルハンドブック （自己評価） ・ 事業所からの評価シート （他者評価）
3 次	10	<p>○ 職場体験学習のまとめと発表をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場体験学習の振り返りをする。 ・ 礼状を書く。 ・ 活動内容をまとめる。 ・ 発表資料を作る。 ・ 発表会を行う。 	<p>観察・制作物による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行動観察 ・ トライアルハンドブック ・ 発表資料 <p>パフォーマンス評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表会

3 資料

(1) 事業所一覧（全 43 事業所、順不同）

パティスリーましゅり、グルービー日立店、レストランしいな、アトリエ新樹、カーコンビニ倶楽部UNO、花膳、スポーツゼビオ日立城南店、ニトリ日立店、プチネイルサロンパニティ、日立総合病院、ひばり幼稚園、おおせ保育園、会瀬幼稚園、さくら日立、とんかつとん、デニーズ日立成沢店、セブンイレブン市民運動公園前店、ユニクロ成沢店、ブックエース日立鮎川店、助川小学校、日立特別支援学校、しゃぶしゃぶ温野菜、南部図書館、クオーレ、ソニア、ホテル永野屋、グルービー大みか店、アーシュターブル、ペッツワン、蟹海菜、マクドナルド、はま寿司、海里、カシマプラザサルー、わかばペットクリニック、ツーリストホテル日立、かみちよう保育園、さくらカフェひたち、記念図書館、JR日立駅、J-WAY、かみね動物園、日立消防署

(2) 活動のようす



行程表作成



電話連絡



事前打ち合わせ



職場体験



体験のまとめ



発表会①

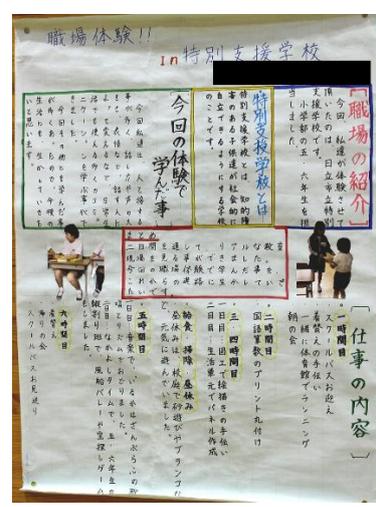
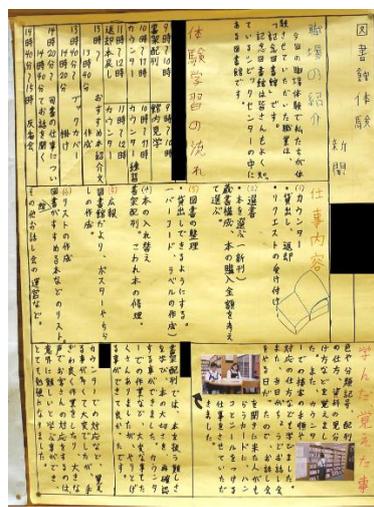
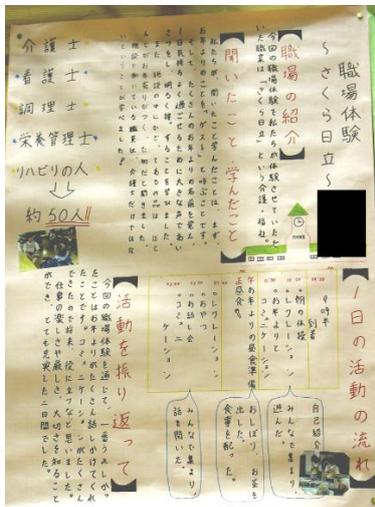


文化祭での発表①



文化祭での発表②

(3) 作成した掲示物



(4) 職場体験学習の生徒の感想

- ・ 職場体験学習では、マスターの「努力を惜しまない」という言葉が印象的でした。この言葉を胸に努力していきたいです。
- ・ 私は、職場体験学習を終えて、仕事の大変さと楽しさを味わうことができました。これから、将来の夢に向け頑張りたいです。
- ・ 私は、職場体験学習で保育園に行き保育士について学びました。子ども達にご飯を食べさせたり、着替えをさせたり忙しさを学ぶことができました。
- ・ この職場体験学習を通して、働くことの大変さややり遂げた後の達成感が得られました。これをきっかけに、将来について考えたいです。

(5) 職場体験活動での生徒の評価（事業所）について

- ・ 一生懸命活動していたが、少し静かすぎたと思う。もっと積極的になってほしい。
- ・ 忙しい日になってしまったが、友達と連携して素早く仕事をすることができた。
- ・ あいさつをすること、きちんとした言葉遣いで自分の考えや思ったこと等を話せるようになってほしい。
- ・ 言われたこと、頼まれたことは責任をもって取り組む姿勢が見られた。

- ・製菓作りで均一に切れずに悩んでいたが、「商品として出すには…」,「自分が買いたいと思える仕上げ方は…」ということを考え、丁寧な仕上げの意味を考えることができた。
- ・覚えた仕事を進んでやり、仕事が終わると他の仕事を探すことができた。
- ・(事業所の方が)示した重要点を細かくメモにとっていたことが好印象だった。
- ・将来、この職業に就きたいという生徒が職場体験学習に来たので、学ぼうとする意欲が高かったと感じた。

4 成果と課題

(1) 成果について

① グループ学習について

事前打ち合わせや職場体験学習当日の行程表を作成する際には、インターネットを利用して地図や学校から事業所までの距離、移動にかかる時間、バスやJRの時刻から、どの経路で何時に集合し出発すればよいのか等を、グループのメンバー同士で積極的に相談して決めることができた。また、事業所への電話連絡の練習をグループで行うことで、トライアルハンドブックをそのまま読むのではなく、相手の返答に応じて表現を変えた方がよいことに気付き、グループで話し合っ、事業所の方に伝える内容を精選することができた。1年生や保護者への発表会に向けての発表会の準備では、それぞれが持ち寄った職場体験新聞をもとに、発表するためにはどのような内容を書けばよいか、どのようなことを伝えればよいかを話し合いながら活動することができた。

② 生徒の感想や事業所からの評価について

生徒の感想から、働くことの大変さや楽しさについて学ぶことができたことが分かる。また、自分の生活と結びつけて、利用者としてではなく、仕事をする側のことに目を向け、視野や自分のものの見方を広げることができた。また、「今回の体験を今後の生活に生かしていきたい」という感想から、学習内容であることが判断できる。よって、今後のまとめや発表会を行うことで、生徒がより自分自身のことを見つめることができるようにしていきたい。

緊張の中の職場体験学習であったこともあり、1日目は表情が硬かったり積極的に活動できなかつたりする生徒が多かったが、2日目には教えられたことを互いに確認し合いながら、表情豊かに活動することができた。生徒は「どのようにしたらよいか」等、1日目の反省を生かし2日目の活動につなげられたので、今後の学校生活においても「反省から学ぶ・発展させる」ことを継続したいと考える。

(2) 課題について

職場体験学習は、キャリア教育の視点からも生徒のものの見方や考え方を広げるよい機会になると考えられる。しかし、体験をするだけ、まとめて発表するだけで終わってしまつては、そこで学習が途切れてしまうので、他の学習につなげられるような連続性を意識した手立てを構築していくことが今後の課題である。